

平成21年度始動 本年度もよろしく お願い致します



桜の開花と共に平成21年も4月に入りました。
この時期になりますと、名実共に21年度という感覚になって参ります。
本年度も何卒よろしくお願い致します。

承事	齊藤英博	承事	吉清敬子	承事	佐々木隆道	承事	関幸子	承事	松本顕要	承事	松岡玄澄	承事	小澤玄勇	承事	矢作不二雄	承事	佐々木勝利	承事	地引友子	承事	佐々木育子
----	------	----	------	----	-------	----	-----	----	------	----	------	----	------	----	-------	----	-------	----	------	----	-------

(後列右より)

承事	遠藤了暉	法務主事	村田教行	総務執事	宮崎雅宣	別當	中條令紹	執事長	佐々木光道	經理執事	根本行之	法務副主事	大森太朗
----	------	------	------	------	------	----	------	-----	-------	------	------	-------	------

(前列右より)

清澄

平成21年3・4月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1
© 清澄寺
TEL 04 (7094) 0525番
FAX 04 (7094) 0527番
振替 00140-5-55501
印刷所
天津 (南) プラザー印刷
送料共1部100円

お知らせ

4月

27日 14:00～
開宗会法要
19:00～
報恩唱題行
28日 4:50～
暁天法要

5月

27日 19:00
信行会(唱題行)

6月

2～6日
僧道林
27日 19:00
信行会(唱題行)

本年は丑年

境内中央の観音堂

◆本開帳中◆

今年は丑年ですので、境内中央に建立されております観音堂では、十二年に一度の本開帳にあたります。

(写真左)



期間は三月十日から四月十日までの一ヶ月間。

十日の初開帳日は導師に別当様、副導師に佐々木執事長と宮崎総務執事、山務員出仕により法要厳修。

(写真下)



清澄寺は、安房の国札十七番札所にあたり、十二年に一度のため、観音様ご信仰の方や、各札所の檀信徒の方が多くご参詣頂いております。

皆さんは、この三十四ヶ所のお参りを早い方は二三日で、ゆっくりかけて参拝の方は五日位かけて巡拝されております。

本堂向拝の紫幕

ご奉納のお願い



虚空蔵菩薩ご奉安の本堂(摩尼殿)正面の幕が傷み色あせてしまいました。つきましては、虚空蔵様ご報恩のお気持ちで奉納を頂けましたら有難く存じます。サイズは、420cm×135cm、紋白抜き紫化繊縮緬でございます。奉納者のご芳名を幕に染め抜いて記載し常時掲拝させていただきます。壱金 金15万円です。何卒よろしくごお願い申し上げます。

当山責任役員
衆議院議員
森 英介代議士
法務大臣に就任

当山の責任役員でありま
す、衆議院議員・森 英介
代議士は、このたび法務大
臣に就任されました。

山内一同、この名誉に大
変嬉しく思っておりますが、
奥様は、弁護士でもありま
すので、まさに適任のポス
トと地元でも大喜びの声
が聞こえております。

新護山会会長

こんのむねお
今野宗郎氏
就任



大晦日
元日の諸行事

大晦日

平成二十年の大晦日から
元旦にかけての参籠者は、
前年同様研修会館に来山さ
れ、午後七時から、平成二

十年度の感謝を込めての法
要である除夜祭が厳修され
ました。

その後、午後十一時三十
五分、本堂前での水行があ
るため十一時頃には境内に
ぞくぞくとお参り客が集ま
り始めました。



水行式では、
村田教行主事が
水行導師を勤め、
山務員の大森太
朗・松本顕要・
小澤玄勇そして
応援の林洋明の
各上人でした。
水行肝文が始
まると、境内の
参拝者は神妙な
面持ちで見守っ
ておりました。
水行が終了す
ると、まもなく
除夜の鐘となり、
十一時五十五分
別当様の挨拶が

あり、第一鐘が椎鐘されま
した。そして参籠者、一般
の皆さんの順で椎鐘が続き
ました。

元日

除夜の鐘が椎鐘され続け
ている中を、時は二十四時
を迎え平成二十一年度とな
りました。

本堂ではお参りの皆さん
が一齐にお賽銭をあげて合
掌・合掌の光景。



(一番祈禱を受ける参拝者)
一方、堂内では新春一番
祈禱の法要が執り行われま
した。

二座目からは、随時ご祈
禱が夜を徹して厳修されて
おりました。

初日の出
ご来光

初日の出の時刻は六時四
十四分、この時刻はご存知
のように、簡単には行けな
い富士山とかを除き全国で
一番早い場所になります。

六時半に研修会館からお
題目の玄題旗を先頭に、太
鼓に合わせ、行列を組んで
旭が森へ進みました。

到着しますと、既に良い
場所を確保している一般の
参加者が大勢おり、行列で
参加された皆さんを合わせ
ると旭が森は身動きが出来
ないまでの状態でした。

別当様導師で日蓮聖人像
に、お自我偈を言上、続い
て東方に向かいお題目を一
心に唱え暁天法要を厳修。

まもなく雲上にご来光が
射し始めると参列の皆さん
は一齐に歓声をあげ、写真

におさめようとカメラを向けておりました。ところが、このカメラ、殆どが携帯電話のカメラで時代の変わりように複雑な思いを感じました。数年前までは、考えられない光景でありました。



ご来光から戻りますと、引き続き、元旦祝祷会法要でした。

別当様を導師に佐々木執事長・宮崎執事を副導師に山務員、手伝いの僧侶総出仕で法味言上が、本堂・祖師堂と続けて厳修されました。

祖師堂での法要後には、別当様から参列者に親しく新年のご挨拶が述べられました。



(元旦早朝の境内)

分節会

正月気分も抜けきららない一月後半から準備をすすめる節分会。

昨年は嘗て無い大雪に見舞われ、帰る事も危ぶまれましたが、今年は正月同様、

穏やかな天候でした。

本堂では早朝より修法師による厄除け祈願や漁業関係者が参詣され、修法木剣の音が響き渡っておりました。午前十一時、研修会館前から本堂までお練り行列が執り行われ、到着後別当様導師のもと節分追儺会法要を厳修。



法要後は祖師堂前にて境内一杯の参詣者に豆撒きが行なわれました。

この撒かれる中には福引券が入っており、いろいろな景品が当たるので、参拝

者は特別の思いで懸命に取り合っておりました。



談話室

平成二十一年度、名実共にその季節を迎えた訳ですが、新年度になると、清澄寺も開宗会を迎えます。

こう考えますと、日蓮聖人は本当に良い時期に立教開宗をされたとしみじみ思えます。

鴨川市は日蓮聖人がご生誕され立教開宗をされた地。

他にもたくさんの由緒地があります。その鴨川市の市長にこのたび当山監査役員・日澄寺の片桐有而僧正が就任されました。

清澄寺としましては、これ程嬉しい事はありません。市の行政に負けないよう清澄寺も山内一丸となつて邁進して行きたいと存じます。皆様の尚一層のご丹精、ご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

きよすみ誌は、昨年度より大幅な転換をさせて頂いておりますが、毎号試行錯誤の連続でございます。

その中で、春より通常の発行は檀信徒様対象、寺院の皆様には年間二回の発行とさせて頂いております。

今号は寺院の皆様にも発行のものとなりますが、半年間の状況を広報するにあたりましては、通常号と重複せざるを得ないものもあり、檀信徒の皆様には既報済みの内容が掲載されています。予めご了承願います。たく存じます。